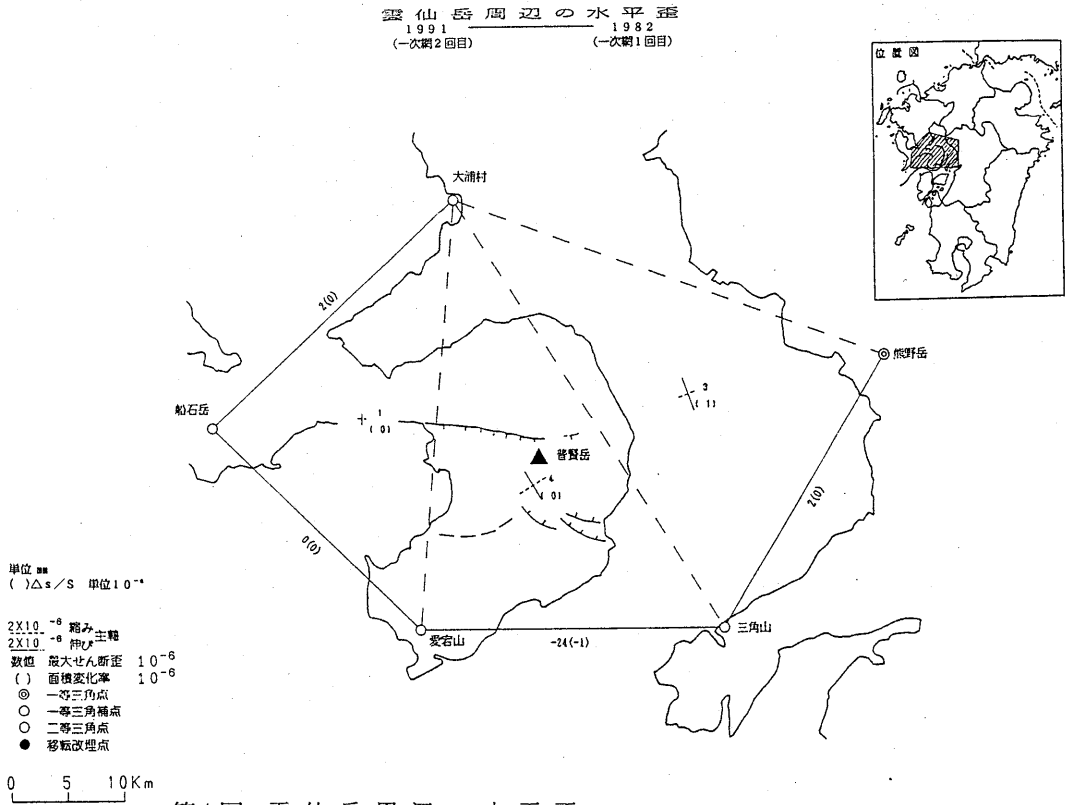


# 雲仙岳周辺の地殻変動\*

国土地理院

第1図は精密測地網一次基準点測量による雲仙岳周辺の水平歪を示したものである。島原地溝帯はさんで北北西～南南東または北西～南東方向の伸びが認められる。第2図は仁田峠—九大観測所間のGPS連続観測結果を示したものである。1991年10月以降は、各成分とも大きな変化はない。第3図は、最近のGPS連続観測の結果を示したものである。1992年2月になって仁田峠—礪石間が若干の変動を示しているが、これは火山活動によるものではなく観測の状況悪化が原因である可能性がある。他の区間では特に目立った変動はみられない。

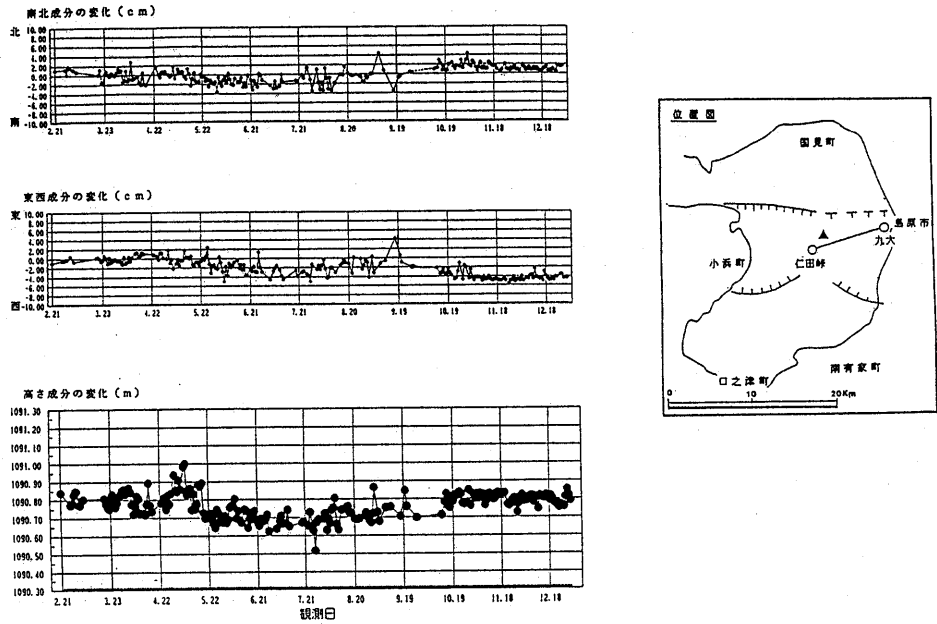


第1図 雲仙岳周辺の水平歪

Fig. 1 Horizontal crustal strain around Mt. Unzen Volcano.

\* Received 11 May, 1992

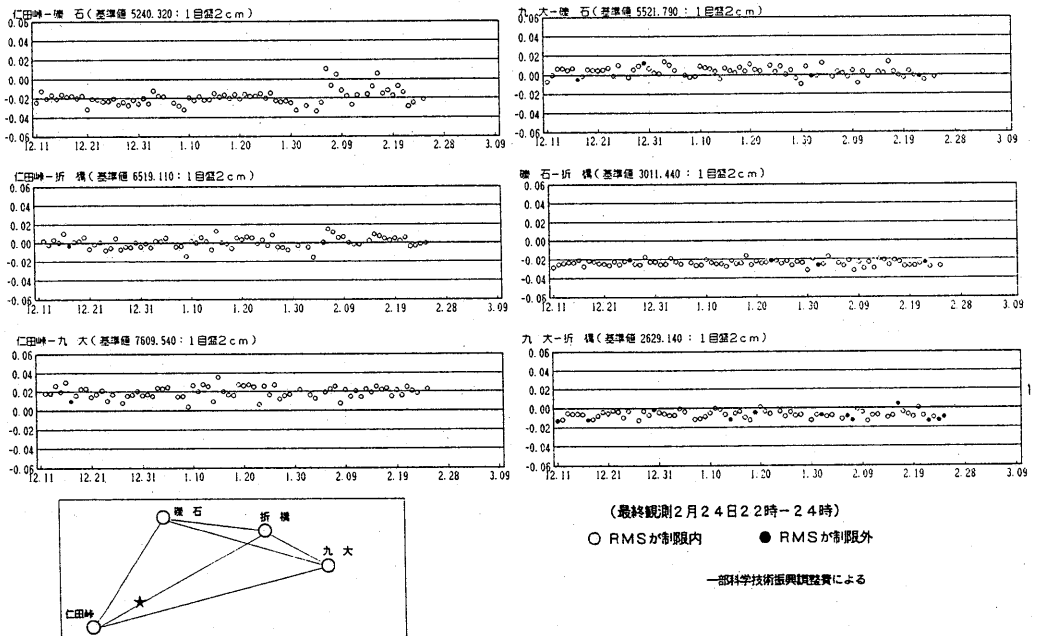
GPS 連続観測による九大観測所に対する仁田峠の位置変化



第2図 GPS 連続観測による仁田峠の位置変化 (九大観測所基準)

Fig. 2 Ground deformation of Nita-Toge by GPS continuous distance change observation

GPS 連続観測 (雲仙地区)



第3図 GPS 連続観測結果

Fig. 3 Continuous distance change observation with GPS at Mt. Unzen.